

最近の事例から

出勤時に、幸田駅から西口に向かう通路で人が倒れているのを発見しました。私も初期対応に加わり、AEDを探しに幸田駅に行きましたが、設置されていませんでした。その後、救急車で搬送されましたが、幸田駅にも是非AEDを設置してください。



皆さんからの声

私の行動

行動1

消防署へ要望
設置義務や基準はないが、今回の事故事例から、JRへ設置要望を提出

行動2

ささく調査
JR(名古屋ー豊橋間)の設置状況は、名古屋・金山・刈谷・豊橋駅のみ

行動3

議会で発言
「救える命を救う」ため、公共施設に更なるAED設置を提起する

次回の一般質問にて、人の集まる駅や駐在所、コンビニへの設置を要望します！



AED(自動体外式除細動器)とは:
心室細動を起こした人に取り付け、電気ショックを与えて心臓の働きを取り戻すための救命機器のことです。機械の音声指示に従って操作することができ、空港や駅、スポーツ施設等への設置が広がっています。
AEDは心肺停止状態の患者を救うために非常に有効な方法です。



ささく弘康のホームページをチェック!

私の議会報告・活動状況をホームページに掲載しています。「ささく弘康のホームページ」で検索し、是非ご覧ください。皆さんからのご意見やご要望の「声」をお待ちしています!

ささく弘康 検索

<http://www.hiro-sakou.com/index.html>

QRコード
携帯電話からの読み込みはこちらからどうぞ



私に寄せられた「暮らしの相談」は、信頼のバロメーターとして捉えて取り組んでいます。すべての問題を解決できるわけではありませんが、「一番早い返事は行動である」をモットーに行動しています。

ACTION!
私の活動報告

私たち組織内議員の役目
皆さんの「声」を
行政に届け、実現する



幸田町議会議員 酒向弘康

総務委員会委員長
防災対策特別委員
議会広報特別委員

日頃は、私たち組織内議員に対しまして、深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことに心より感謝を申し上げます。

議会議員の任務のひとつが、行政施策が住民のために行われているか、そして住民が納めた税金がどのように使われ、どのように還元されているかをしっかりチェックすることです。その中で、私たち組織内議員は、生活者の目線で「安心して安全に暮らせるまちづくり・社会づくり」のために、皆さんの「声」を行政に届け、実現していくことだと思っています。今回は、そうした日頃の取り組みをご紹介します。

提言実現に向けた議員の「発言」機会

議員が自分の意見や主張を発言(質疑・質問・討論)する機会は、本会議では「一般質問」と「討論(議案に対する意見表明の場)」があります(幸田町議会には、会派代表者による「代表質問」はありません)。また、常任委員会と特別委員会にそれぞれ所属して課題ごとに議案を審議し、ここでも質疑・質問の発言の機会があります。これらすべての発言は、公式の議事録にも記録されます。行政を動かすためには、建設的な提言・提案が必要です。他市町の状況や必要性等、十分な情報収集と準備、そして責任ある発言をしなければなりません。特に一般質問では、議員が広く行政に対して報告や説明を求めたり疑問を質することができ、そして住民からも重大な関心と期待を持たれる、最も華やかで大事な議員活動の場なのです。

組織内議員の連携

少子高齢化や近々の防災対応等、国民一人ひとりの負担が増える中、地方行政の充実をはじめ、行財政改革も推し進める提言・提案を行う必要があります。地域の活動として、私たち組織内議員は多くのネットワークを持ち、近隣市町の行政の取り組み状況や情報をその日のうちに把握することができます。また、県政・国政にもパイプがつかっています。更に、交通渋滞緩和に向けた交差点改良や、地域安全・防犯・防災強化街灯の設置・改良、そして交通安全のためのカーブミラー設置要望まで、地域住民の方が困っている問題に地道に取り組んでいます。議員のいない市町の組合員さんも、働く仲間の議員と私たちは連携しています。何でもご相談ください。